

論壇

テキサス州の拡大、繁栄

テキサス州のダラスに行ってきた。ここには最近カリフォルニアから北米本社を移したトヨタ自動車もある。6000人が働くというトヨタの北米新本社は10棟前後の建物から構成される、さながら大学のキャンパスのようであった。昨年、シリコンバレーにあるグーグルの本社（これもキャンパスと呼ばれる）にも行ったことがあるが、同じような雰囲気である。会社の事務所というよりも、大学のキャンパスというイメージである。

ダラスやヒューストンなどの大都市があるテキサスには、アメリ

伊藤 元重 学術院大教授(国際経済学)

カ国内からそして世界中から企業が集まっている。ヒューストンは石油とガスの中心都市であり、最近シエールガス・シエールオイルの出荷基地としても注目されている。日本へのシエールガスの輸出も始まるようだ。このヒューストンには、40年前に1年住んだことがあるが、当時と今とは様変わりした。

テキサス州の拡大、繁栄は、カ国内からそして世界中から企業が集まっている。ヒューストンは石油とガスの中心都市であり、最近シエールガス・シエールオイルの出荷基地としても注目されている。日本へのシエールガスの輸出も始まるようだ。このヒューストンには、40年前に1年住んだことがあるが、当時と今とは様変わりした。

人口移動が米経済の原動力

わりのようだ。

拡大と繁栄を続けるテキサス州を見てみると、アメリカ経済の成長の大きな原動力が、地域間の人口移動であることがよく分かる。産業や経済の構造が変わる中で、多くの人が新しい地域に移動していく。そうした人口移動によって新しい産業が育っていく。テキサ

荒廃し、多くの人々の所得水準が大幅に下がった。失業率や犯罪率も非常に高くなった。貧困や生活の荒廃で、住民の平均寿命も下がっている。

ラストベルト貧困深刻化

そうしたラストベルトにいたる人は、テキサスなどのサンベルトやカリフォルニアに移住すれば、雇用も確保できるし、生活水準も大幅に向上するはずだ。実際、そうした新興地域に移り住む人も多かった。ただ、どうしても移動を拒む人も多く、そうした人の中に貧困に苦しむ人が多い。

地域を越えて移動するのを嫌う人が増えていることが、通商問題を引き起こす、と当地の経済学者は指摘する。ラストベルトにとどまり貧困で苦しむ人が多くいれ

ば、それを救うために輸入を制限することもやむをえない、というトランプ大統領の主張を支持する地元民が多くいるのも理解できる。もともと、そうした保護主義が経済全体にとっては大きなマイナス要因ともなる。

いずれにしても、地域間の人の移動は現代社会において重大な問題となっている。テキサスやカリフォルニアに見られるように人の移動が産業発展の原動力となる一方で、出て行こうとしない人が貧困を深刻化させているラストベルトの存在がある。静岡でも人口流出が話題になることが多いが、それをどうやって止めるのかという対症療法の議論だけでなく、産業構造など、より踏み込んだ議論が必要なのだろう。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。